

聖徳太子が仏界を守護する四天王を祀った日本最初の官寺

# 四天王寺を歩く (大阪府大阪市)

聖徳太子によって創建された日本初の本格的な仏教寺院。大陸の影響を色濃く受けた独自の伽藍配置や、聖徳太子ゆかりの建物などを数多く有する大阪屈指の浄域は、庶民の寺としても深い信仰を集める場でもありました。



中心伽藍は南から北へ向かって、中門、五重塔、金堂、講堂が一直線に並ぶ。戦後間もなく太子創建の寺として天台宗から独立し、和宗を創立。四天王寺はその総本山です。



**和宗総本山 四天王寺**  
 住所◆大阪府大阪市天王寺区四天王寺1-11-18  
 電話◆06-6771-0066  
 交通◆地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」下車、南へ徒歩5分 JR・地下鉄「天王寺駅」、近鉄「大阪阿部野橋駅」下車、北へ徒歩15分  
 拝観◆お堂・中心伽藍・庭園/午前8時30分～午後4時30分(10～3月は～午後4時) 六時堂/午前8時30分～午後6時 宝物館/午前8時30分～午後4時 お堂の外からのお参り/24時間



ご案内いただいた  
 総務部 参詣課  
 信徒係  
**瀧藤康教さん**

## 聖徳太子の心を今に伝える 大阪屈指の聖地

今からおおよそ1400年前、聖徳太子によって創建された日本最古の官寺、四天王寺。大阪の中心地に位置しながらも一歩境内に入れば、周囲の喧噪と打って変わって落ち着いた雰囲気があります。鐘楼が静かに響く境内には参詣客はもちらんながら、学生たちが行き交い、地域の人々が散策を楽しむ姿も。大阪の人々にとってこの寺は「天王寺さん」の愛称で親しまれる憩いの場でもあります。



西門にある石鳥居。春と秋の彼岸の中日には、鳥居の真ん中に沈む荘厳な夕日を拝する日想観の法要が行われます。



金堂では毎日11時から「舍利出し」という法要に参加できる。お釈迦様のお舍利を頭に当てて功德をいただけるありがたい法要だ。

## 聖徳太子が 四天王寺に 設置した四箇院



聖徳太子が建立にあたって導入した四箇院制度は現在例えば、学校、薬局、病院、社会福祉施設の役割を担いました。



聖徳太子の一生を絵にした絵伝を安置する絵堂。毎月22日には一般公開され、僧侶による絵解きと法話が開催されます。



↑金堂には本尊の救世観音菩薩が祀られ、四方を四天王が守護。  
 ←聖霊院奥殿に安置される秘仏の聖徳太子撰政像。太子49歳の姿といわれ、毎年1月22日にご開帳されます。



「この寺で聖徳太子は仏教の隆盛をはかると同時に、病院や孤児救済の施設といった今日の社会福祉事業にあたる敬田院、施薬院、療病院、悲田院といった四箇院も設けました。仏教の根本思想である慈悲の教えを広めるだけでなく、実践する場としても務められたのです。四天王寺は各時代の中で庶民の寺として親しまれていますが、創建当時から思いが脈々と受け継がれているからなのです」と、四天王寺の総務部の瀧藤康教さんが話されます。

四天王寺の由緒は『日本書紀』の伝えによると、物部守屋と蘇我馬子の合戦の折り、崇仏派の蘇我氏に討たれた聖徳太子が自ら四天王像を彫り、「戦勝すれば四天王を安置する寺を建立し、衆生救済に務める」と誓願。その勝利の後に誓いを果たすため、推古元年(593)に護世四王——東方を持国天、西方を広目天、北方は多聞天、南方は增長天——を祀る寺として建立したと伝えられます。

総面積は3万3千坪、甲子園球場の約3倍はあるという広大な境内の中央にある中心伽藍は、南から北へ向かって、中門、五重塔、金堂、講堂が一直線上に並び、その周辺を回廊が囲む「四天王寺式伽藍配置」がとられており、日本では最も古い建築様式の一つ。この伽藍配置の源流は中国や朝鮮半島に見られ、6～7世紀の大陸の様式を今日に伝える貴重な存在になっています。